

運輸安全マネジメント評価に関する調査・研究

令和3年度報告書

一般社団法人日本海事検定協会
(検定サービスセンター審査評価チーム)

目次

1.目的.....	3
2. 運輸事業者の取組状況の把握	3
2-1 認定セミナー受講者に行ったアンケート調査の実施概要	3
2-2 被評価者に行ったアンケート実施概要.....	10
2-3 運輸安全マネジメント評価を担当した評価員に対するアンケート調査の実施概要.....	15
2-4 アンケート結果まとめ.....	19
2-5 考察.....	20
3.運輸安全マネジメント評価員育成計画の実施状況.....	21
4.来年度以降の事業について.....	21
添付資料①【主催者からのアンケートのご協力のお願い】	
添付資料②【概要:安全重点施策とマネジメントレビューの関係性】	

文献目録

国土交通省. 安全管理体制に係る「マネジメントレビューと継続的改善」.参照先: 国土交通省 運輸安全マネジメント制度に関する参考資料: <https://www.mlit.go.jp/common/001212555.pdf>

国土交通省. 運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン(ガイドラインセミナー資料). 参照先: 国土交通省 運輸安全マネジメントセミナー資料: <https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/documents.html>

国土交通省. 運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン～輸送の安全性の更なる向上に向けて～.

参照先: 国土交通省 運輸安全マネジメント制度に関する参考資料: <https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/content/20200615.pdf>

国土交通省. 中小規模自動車運送事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン. 参照先: 国土交通省 運輸安全マネジメント制度に関する参考資料: <https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/content/001410757.pdf>

1. 目的

「一般貸切旅客自動車運送事業の許可及び事業計画変更認可申請の処理について(平成 11 年 12 月 13 日付け自旅第 128 号、自環第 241 号)」の一部改正(平成 29 年 2 月 28 日)により、前回更新時以降に輸送施設の使用停止処分又は使用制限(禁止)の行政処分を受けた場合、「自動車運送事業者における運輸安全マネジメント等の実施について(平成 21 年 10 月 16 日国官運安第 156 号・国自安第 88 号・国自貨第 95 号)」に基づき認定された第三者機関による運輸安全マネジメント評価を受けていない場合は、貸切バスの許可更新を受けることができないこととなり、その審査基準が適用される貸切バス事業者の申請時期が 2022 年 2 月からとなっている。

第三者機関である一般社団法人日本海事検定協会は、運輸事業者(主に貸切バス事業者)に有効な評価を実施するため評価員の育成に取り組むとともに、国土交通省が当制度の指針として公表している「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン(以下、「ガイドライン」)」等、運輸安全マネジメント制度に関する資料に基づき、運輸安全マネジメント制度の取組状況等の調査・研究を実施する。

2. 運輸事業者の取組状況の把握

実態把握では、2 つのを行った。ひとつは、運輸安全マネジメント制度の認定セミナー開催時に、運輸安全マネジメントの有効活用が望まれる運輸事業者に対してアンケート調査を行い、ガイドラインに示されている 14 項目についてどのように自社の取組状況を捉えているか、問題があるとするばどのようなことか等を調査した。もうひとつは、運輸安全マネジメント制度における評価(以下、「評価」)の第三者機関として、当会の評価を希望された会社(以下、「被評価者」と評価を担当した当会の評価員(以下、「評価員」)に対してアンケート調査を行い、前述の取組状況等の把握と、第三者の視点での取組状況と課題等について調査した。

2-1 認定セミナー受講者に行ったアンケート調査の実施概要

2-1-1 アンケート調査の実施方法

一般社団法人日本海事検定協会主催の運輸安全マネジメント認定セミナーのガイドラインコース(以下、「セミナー」)の受講者を対象に、セミナー受講後にアンケート(添付資料①)を実施した。

2-1-2 アンケート回収数

受講者にアンケートを依頼した結果、69 名(65 社)から回答があった。

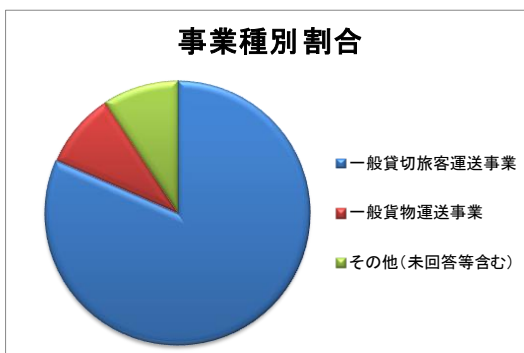
2-1-3 アンケート実施対象の事業概要等について

セミナーを受講した会社の事業種別とその割合は、一般貸切旅客自動車運送事業者(貸切バス)が 82%、一般貨物自動車運送事業者(トラック)が 9%、その他が未回答含め 9%であった。(「図

表 1 事業種別)

事業種	割合	実数
一般貸切旅客運送事業	82%	53
一般貨物運送事業	9%	6
その他(未回答等含む)	9%	6
合計	100%	65

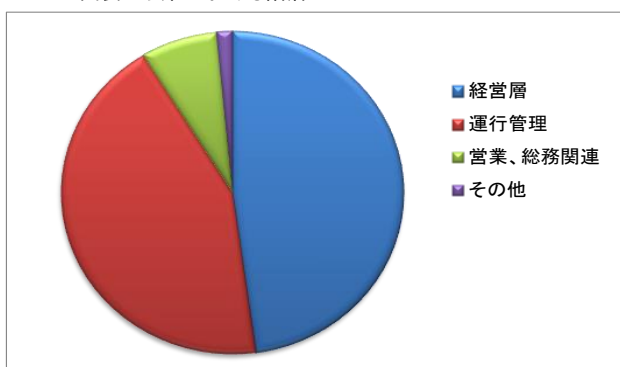
図表1 事業種別



セミナー受講者の組織における階層とその割合は、経営層が 48%、運行管理者が 43%、営業総務関連が 7%、その他が 1%であった。(「図表 2 会社における階層」)

図表2 会社における階層

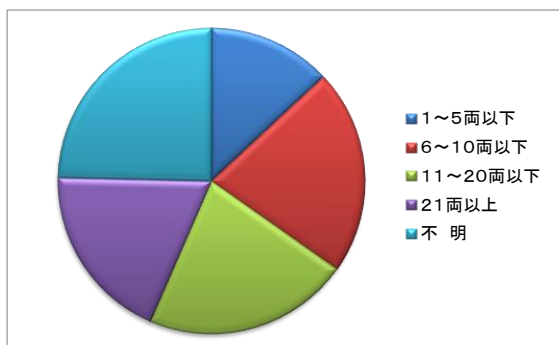
主な階層	割合
経営層	48%
運行管理	43%
営業、総務関連	7%
その他	1%
合計	100%



保有車両数(事業規模)とその割合は、1~5 両以下が 13%、6~10 両以下が 22%、11~20 両以下が 22%、21 両以上が 19%、車両数不明が 25%である。(「図表 3 保有車両数」)

図表 3 保有車両数(事業規模)

保有車両数	割合	実数
1~5両以下	13%	9
6~10両以下	22%	15
11~20両以下	22%	15
21両以上	19%	13
不明	25%	17
合計	100%	69



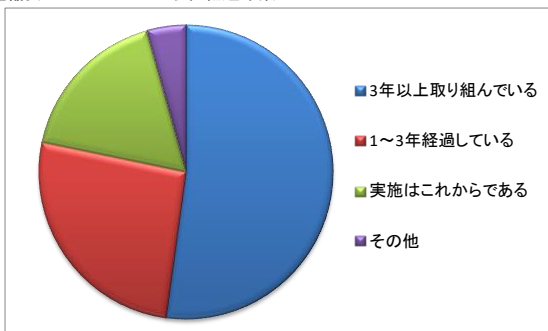
2-1-4 セミナー受講者のアンケート結果

アンケート結果は、下記のとおりであった。

- ① (質問)「あなたの会社では既に、運輸安全マネジメントに取り組んでおられますか。」
上記の質問に対するアンケートの回答は、「運輸安全マネジメントに、3年以上取り組んでいる」が52%、「1～3年経過している」が26%、「実施についてはこれからである」が17%、その他が4%であった。

図表4 運輸安全マネジメントの取組経過年数

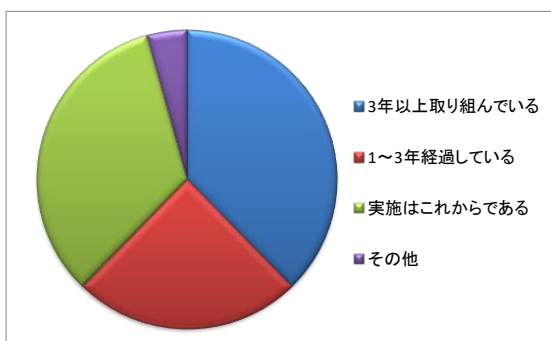
	割合	実数
3年以上取り組んでいる	52%	36
1～3年経過している	26%	18
実施はこれからである	17%	12
その他	4%	3
合計	100%	69



- ② (質問)「あなたの会社では既に、内部監査を実施されていますか。」
上記の質問に対するアンケートの回答は、「3年以上取り組んでいる」が38%、「1～3年経過している」が25%、「実施についてはこれからである」が33%、その他が4%であった。

図表5 内部監査の取組経過年数

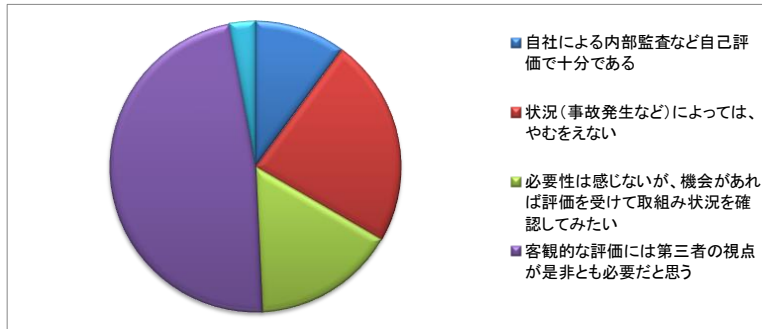
	割合	実数
3年以上取り組んでいる	38%	26
1～3年経過している	25%	17
実施はこれからである	33%	23
その他	4%	3
合計	100%	69



- ③ (質問)「運輸安全マネジメント制度における第三者の評価をどのように思いますか。」
上記の質問に対するアンケートの回答は、「自社による内部監査など自己評価で十分である」が10%、「状況(事故発生など)によっては、やむをえない」が23%、「必要性は感じないが、機会があれば評価を受けて取組み状況を確認してみたい」が16%、「客観的な評価には第三者の視点が是非とも必要だと思う」が48%、その他が3%であった。

図表6 第三者による評価について

	割合	実数
自社による内部監査など自己評価で十分である	10%	7
状況(事故発生など)によっては、やむをえない	23%	16
必要性は感じないが、機会があれば評価を受けて取組み状況を確認してみたい	16%	11
客観的な評価には第三者の視点が是非とも必要だと思う	48%	33
その他	3%	2
合 計	100%	69



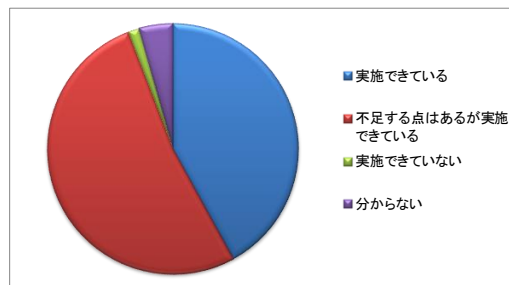
④ (質問)ガイドラインの『14項目の取組』について、御社の現状を教えてください。

上記の質問に対するガイドラインの14項目ごとについての回答は、以下のとおりである。「実施できていない」の回答が多かった項目は、「内部監査」(26%)、「事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用」(17%)、「要員の責任と権限」(13%)、「マネジメントレビューと継続的改善」(12%)であった。

➤ 経営トップの責務

図表7 経営トップの責務の取組状況

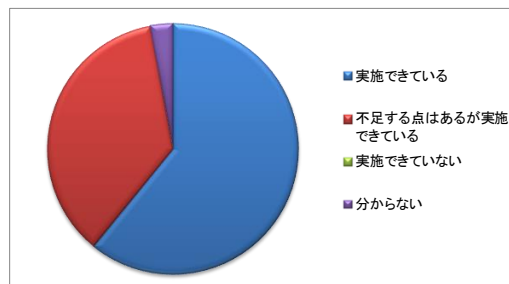
	割合	実数
実施できている	42%	29
不足する点はあるが実施できている	52%	36
実施できていない	1%	1
分からない	4%	3
合 計	100%	69



➤ 安全方針

図表8 安全方針の取組状況

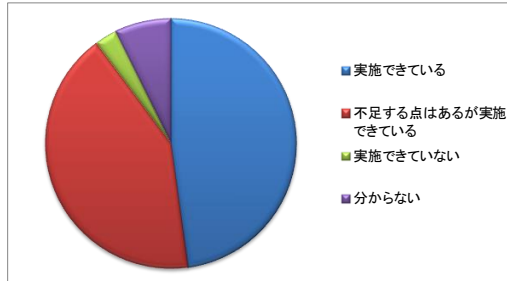
	割合	実数
実施できている	61%	42
不足する点はあるが実施できている	36%	25
実施できていない	0%	0
分からない	3%	2
合 計	100%	69



➤ 安全重点施策

図表9 安全重点施策の取組状況

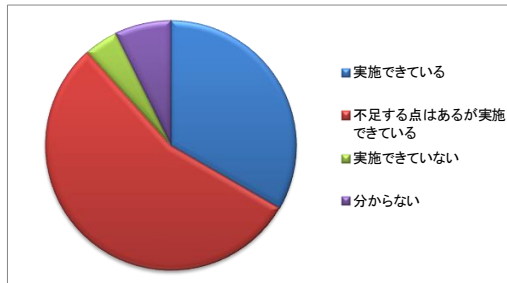
	割合	実数
実施できている	48%	33
不足する点はあるが実施できている	42%	29
実施できていない	3%	2
分からない	7%	5
合計	100%	69



➤ 安全統括責任者の責務

図表10 安全統括責任者の責務の取組状況

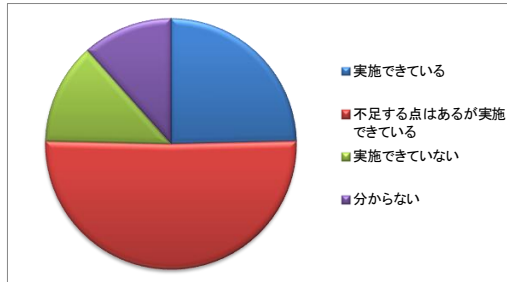
	割合	実数
実施できている	33%	23
不足する点はあるが実施できている	55%	38
実施できていない	4%	3
分からない	7%	5
合計	100%	69



➤ 要員の責任・権限

図表11 要員の責任・権限の取組状況

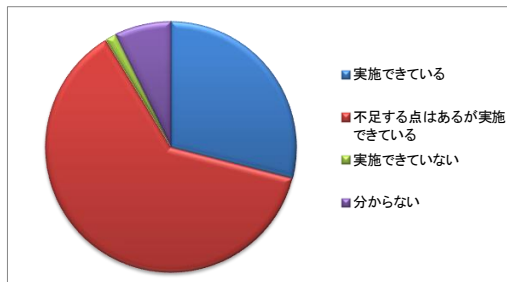
	割合	実数
実施できている	25%	17
不足する点はあるが実施できている	51%	35
実施できていない	13%	9
分からない	12%	8
合計	100%	69



➤ 情報伝達及びコミュニケーションの確保

図表12 情報伝達及びコミュニケーションの確保の取組状況

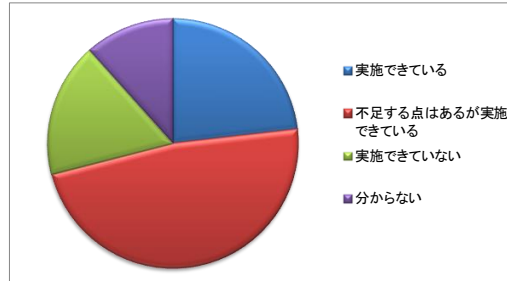
	割合	実数
実施できている	29%	20
不足する点はあるが実施できている	62%	43
実施できていない	1%	1
分からない	7%	5
合計	100%	69



➤ 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用

図表13 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の取組状況

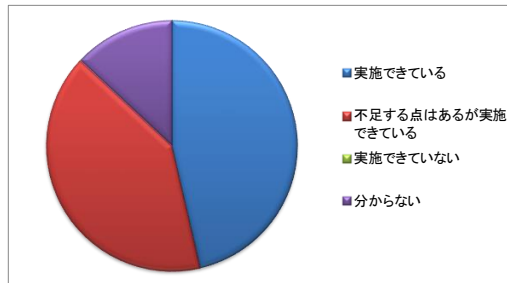
	割合	実数
実施できている	23%	16
不足する点はあるが実施できている	48%	33
実施できていない	17%	12
分からない	12%	8
合計	100%	69



➤ 重大な事故等への対応

図表14 重大な事故等への対応の取組状況

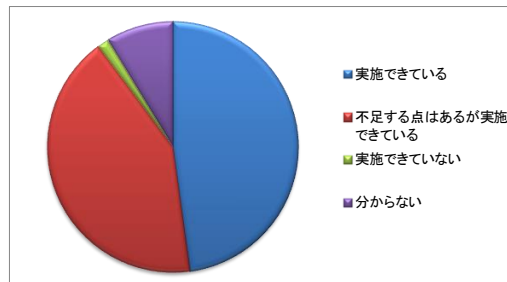
	割合	実数
実施できている	46%	32
不足する点はあるが実施できている	41%	28
実施できていない	0%	0
分からない	13%	9
合計	100%	69



➤ 関係法令等の遵守の確保

図表15 関係法令等の遵守の確保の取組状況

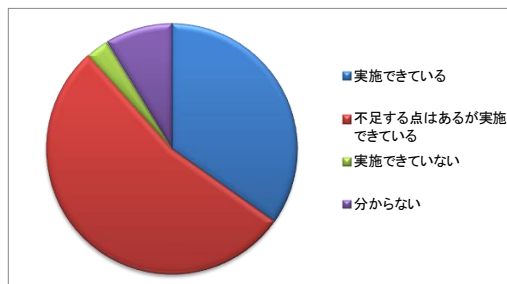
	割合	実数
実施できている	48%	33
不足する点はあるが実施できている	42%	29
実施できていない	1%	1
分からない	9%	6
合計	100%	69



➤ 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

図表16 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等の取組状況

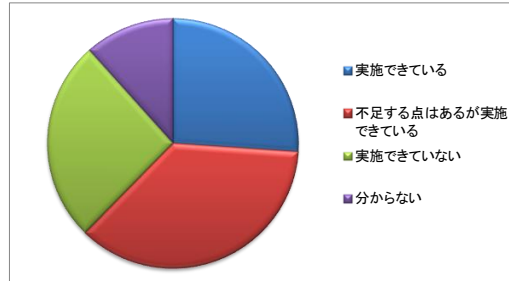
	割合	実数
実施できている	35%	24
不足する点はあるが実施できている	54%	37
実施できていない	3%	2
分からない	9%	6
合計	100%	69



➤ 内部監査

図表17 内部監査の取組状況

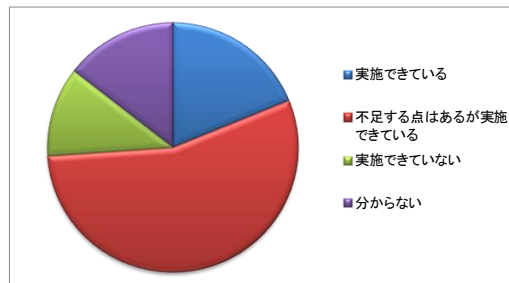
	割合	実数
実施できている	26%	18
不足する点はあるが実施できている	36%	25
実施できていない	26%	18
分からない	12%	8
合計	100%	69



➤ マネジメントレビューと継続的改善

図表18 マネジメントレビューと継続的改善の取組状況

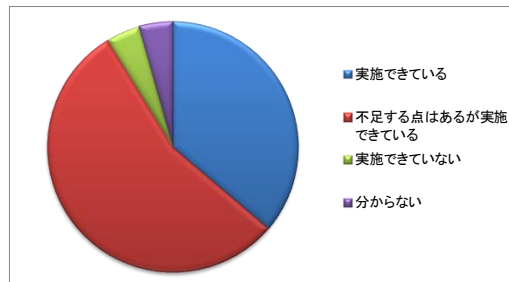
	割合	実数
実施できている	19%	13
不足する点はあるが実施できている	55%	38
実施できていない	12%	8
分からない	14%	10
合計	100%	69



➤ 文書の作成及び管理

図表19 文書の作成及び管理の取組状況

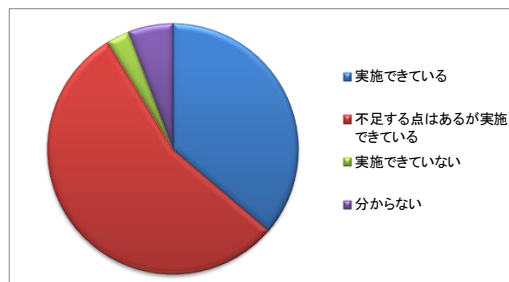
	割合	実数
実施できている	36%	25
不足する点はあるが実施できている	55%	38
実施できていない	4%	3
分からない	4%	3
合計	100%	69



➤ 記録の作成及び維持

図表20 記録の作成及び維持の取組状況

	割合	実数
実施できている	36%	25
不足する点はあるが実施できている	55%	38
実施できていない	3%	2
分からない	6%	4
合計	100%	69



⑤ (質問) 今後、力を入れていきたいガイドラインの項目を教えてください。

上記の質問に対する回答は以下のとおりであった。ただし、回答数が 69 人中 14 人(20%)であった。前述の「実施できていない」の割合が高かった項目と概ね類似しているが、「要員の責任・権限」については 6%であった。

図表21 今後、力を入れていきたい項目		
1	経営トップの責務	0%
2	安全方針	0%
3	安全重点施策	6%
4	安全統括責任者の責務	3%
5	要員の責任・権限	6%
6	情報伝達及びコミュニケーションの確保	3%
7	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用	16%
8	重大な事故等への対応	6%
9	関係法令等の遵守の確保	3%
10	安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等	9%
11	内部監査	25%
12	マネジメントレビューと継続的改善	16%
13	文書の作成及び管理	3%
14	記録の作成及び維持	3%

2-2 被評価者に行ったアンケート実施概要

2-2-1 アンケート調査の実施方法

一般社団法人日本海事検定協会に運輸安全マネジメント評価の申込みを行った会社を対象に、アンケートを実施した。

2-2-2 アンケート回収数

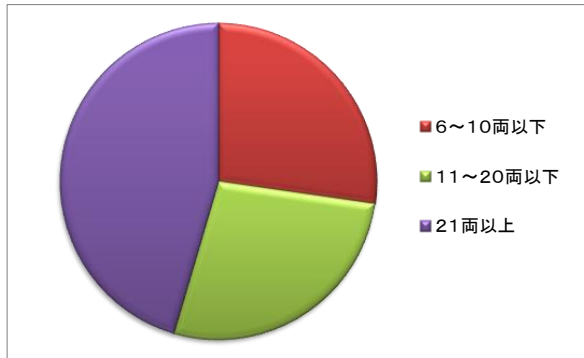
アンケートを依頼した結果、11 社から回答があった。

2-2-3 アンケートに協力頂いた企業の概要

回答のあった企業の事業種別は、兼業を含めすべて一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)を行う運輸事業者であり、回答者は経営層の方であった。保有車両数(事業規模)の割合は、6~10両以下が3社(27%)、11~20両以下が3社(27%)、21両以上が5社(45%)であった。(「図表 22 保有車両数」)

図表22 保有車両数(事業規模)

保有車両数	割合	実数
1～5両以下	0%	0
6～10両以下	27%	3
11～20両以下	27%	3
21両以上	45%	5
不明	0%	0
合計	100%	11



2-2-4 被評価者のアンケート結果

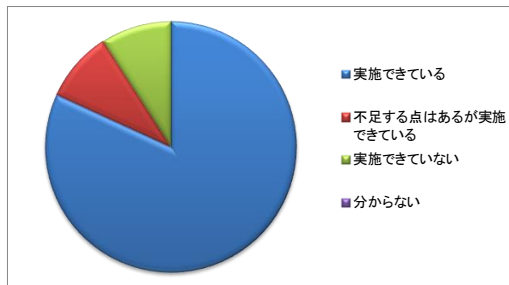
アンケート結果は、下記のとおりであった。

- ① (質問)ガイドラインの『14項目の取組』について、御社の現状を教えてください。
上記の質問に対するガイドラインの14項目ごとについての回答は、以下のとおりである。

➤ 経営トップの責務

図表23 経営トップの責務の取組状況

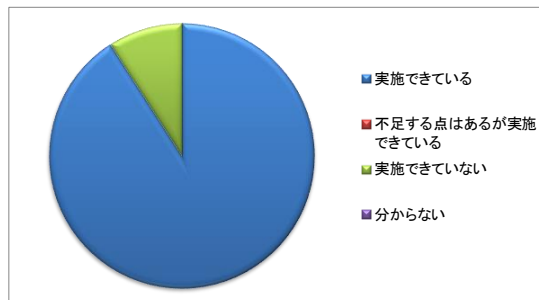
	割合	実数
実施できている	82%	9
不足する点はあるが実施できている	9%	1
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 安全方針

図表24 安全方針の取組状況

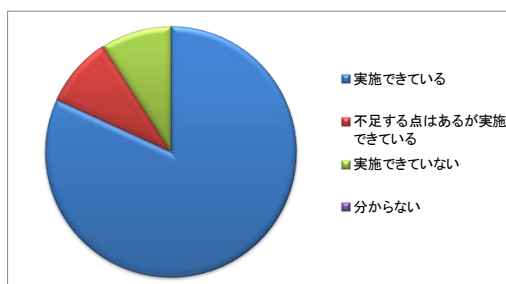
	割合	実数
実施できている	91%	10
不足する点はあるが実施できている	0%	0
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 安全重点施策

図表25 安全重点施策の取組状況

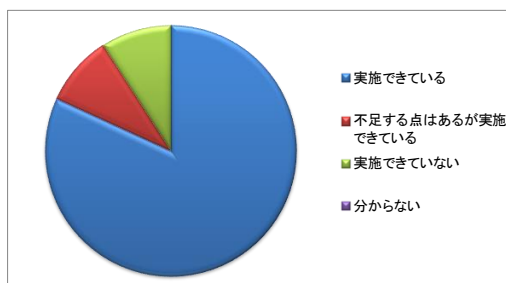
	割合	実数
実施できている	82%	9
不足する点はあるが実施できている	9%	1
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 安全統括責任者の責務

図表26 安全統括責任者の責務の取組状況

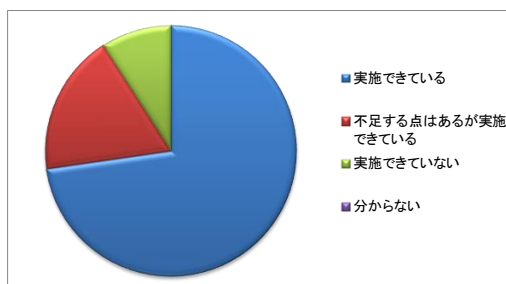
	割合	実数
実施できている	82%	9
不足する点はあるが実施できている	9%	1
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 要員の責任・権限

図表27 要員の責任・権限の取組状況

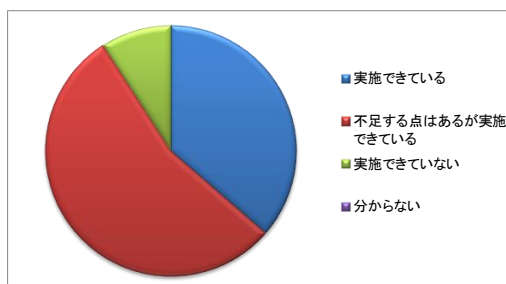
	割合	実数
実施できている	73%	8
不足する点はあるが実施できている	18%	2
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 情報伝達及びコミュニケーションの確保

図表28 情報伝達及びコミュニケーションの確保の取組状況

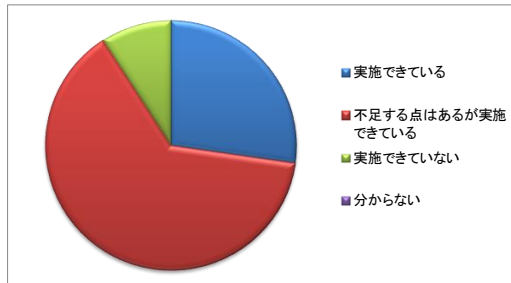
	割合	実数
実施できている	36%	4
不足する点はあるが実施できている	55%	6
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用

図表29 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の取組状況

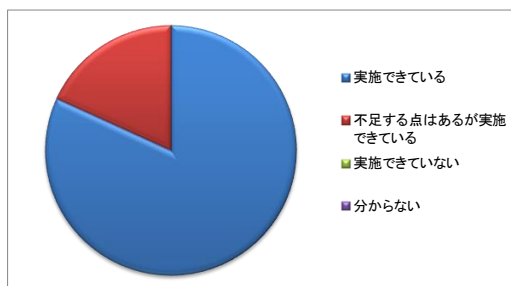
	割合	実数
実施できている	27%	3
不足する点はあるが実施できている	64%	7
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 重大な事故等への対応

図表30 重大な事故等への対応の取組状況

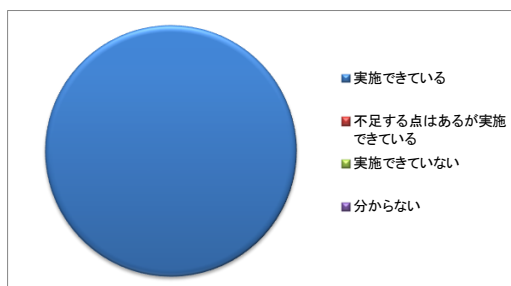
	割合	実数
実施できている	82%	9
不足する点はあるが実施できている	18%	2
実施できていない	0%	0
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 関係法令等の遵守の確保

図表31 関係法令等の遵守の確保の取組状況

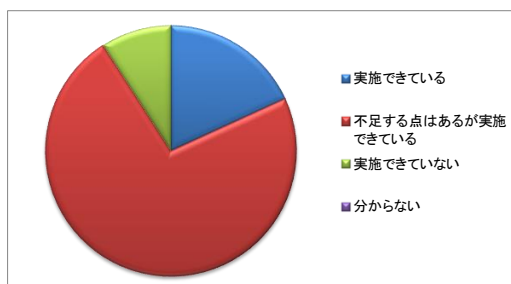
	割合	実数
実施できている	100%	11
不足する点はあるが実施できている	0%	0
実施できていない	0%	0
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

図表32 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等の取組状況

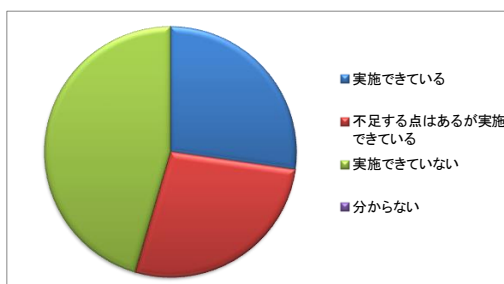
	割合	実数
実施できている	18%	2
不足する点はあるが実施できている	73%	8
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 内部監査

図表33 内部監査の取組状況

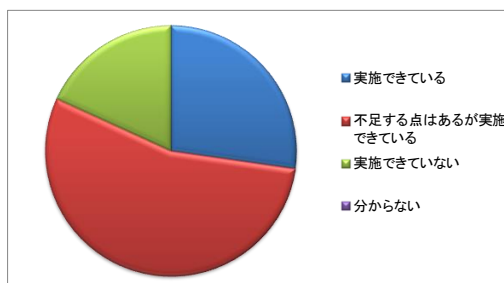
	割合	実数
実施できている	27%	3
不足する点はあるが実施できている	27%	3
実施できていない	45%	5
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ マネジメントレビューと継続的改善

図表34 マネジメントレビューと継続的改善の取組状況

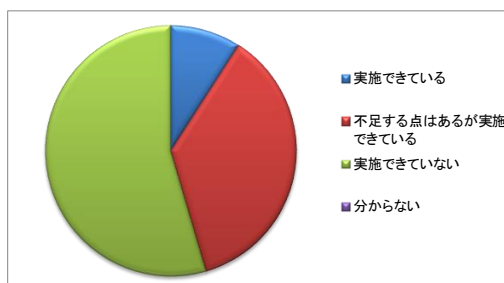
	割合	実数
実施できている	27%	3
不足する点はあるが実施できている	55%	6
実施できていない	18%	2
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 文書の作成及び管理

図表35 文書の作成及び管理の取組状況

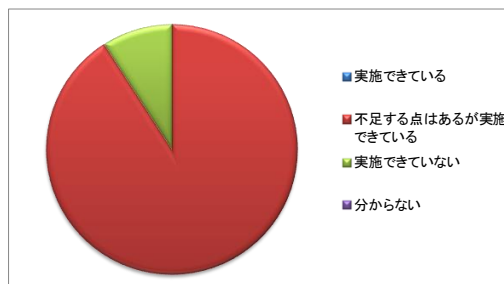
	割合	実数
実施できている	9%	1
不足する点はあるが実施できている	36%	4
実施できていない	55%	6
分からない	0%	0
合計	100%	11



➤ 記録の作成及び維持

図表36 記録の作成及び維持の取組状況

	割合	実数
実施できている	0%	0
不足する点はあるが実施できている	91%	10
実施できていない	9%	1
分からない	0%	0
合計	100%	11



② (質問)今後、力を入れていきたいガイドラインの項目を教えてください。

上記の質問に対する回答は以下のとおりであった。ただし、回答数が11社中9社(82%)であった。前述のアンケートでは、「文書の作成及び管理」が実施できていないと考える会社が55%であったが、今後、力を入れたいと考えている会社は0%であった。

図表37 今後、力を入れていきたい項目		
1	経営トップの責務	0%
2	安全方針	0%
3	安全重点施策	0%
4	安全統括責任者の責務	0%
5	要員の責任・権限	0%
6	情報伝達及びコミュニケーションの確保	0%
7	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用	30%
8	重大な事故等への対応	0%
9	関係法令等の遵守の確保	0%
10	安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等	30%
11	内部監査	30%
12	マネジメントレビューと継続的改善	0%
13	文書の作成及び管理	0%
14	記録の作成及び維持	10%

2-3 運輸安全マネジメント評価を担当した評価員に対するアンケート調査の実施概要

2-3-1 アンケート調査の実施方法

評価を担当した当会の評価員に対し、各評価終了後、ガイドラインの14項目についてどのような取組状況であったか等についてアンケート調査を実施した。

2-3-2 アンケート回収数と保有車両数(事業規模)

評価員にアンケートを依頼した結果、6社分の回答があった。6社の保有車両数(事業規模)は、10両以上20両以下が2社、21両以上30両以下が2社、31両以上40両以下が2社である。

2-3-3 評価員のアンケート結果

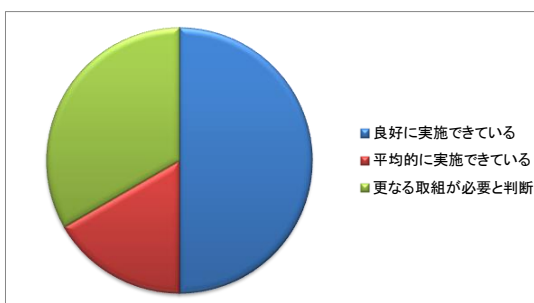
① (質問)ガイドラインの『14項目の取組』について、評価を通してどのように感じたかを教えてください。

上記の質問に対する回答結果は以下のとおりである。

➤ 経営トップの責務

図表38 経営トップの責務の取組状況

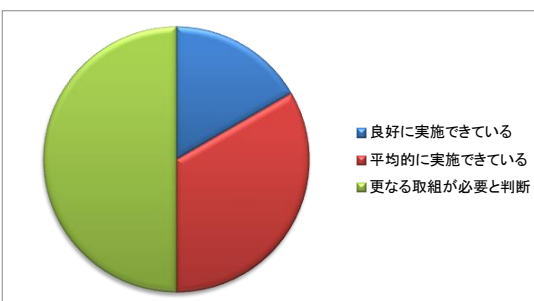
	割合	実数
良好に実施できている	50%	3
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	33%	2
合計	100%	6



➤ 安全方針

図表39 安全方針の取組状況

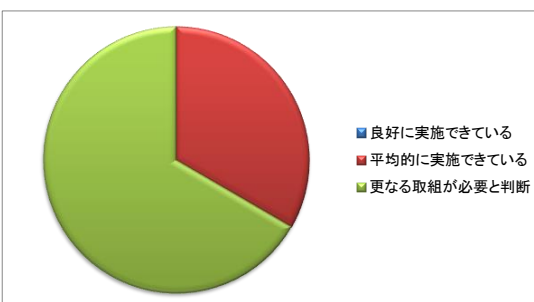
	割合	実数
良好に実施できている	17%	1
平均的に実施できている	33%	2
更なる取組が必要と判断	50%	3
合計	100%	6



➤ 安全重点施策

図表40 安全重点施策の取組状況

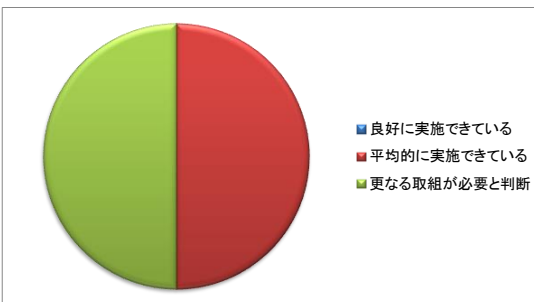
	割合	実数
良好に実施できている	0%	0
平均的に実施できている	33%	2
更なる取組が必要と判断	67%	4
合計	100%	6



➤ 安全統括責任者の責務

図表41 安全統括責任者の責務の取組状況

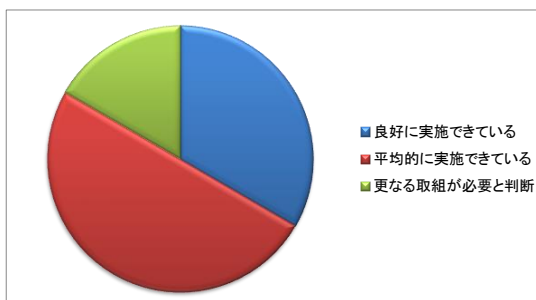
	割合	実数
良好に実施できている	0%	0
平均的に実施できている	50%	3
更なる取組が必要と判断	50%	3
合計	100%	6



➤ 要員の責任・権限

図表42 要員の責任・権限の取組状況

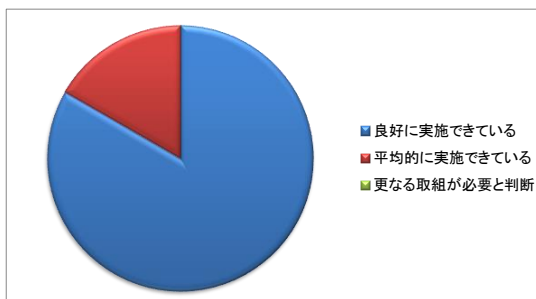
	割合	実数
良好に実施できている	33%	2
平均的に実施できている	50%	3
更なる取組が必要と判断	17%	1
合計	100%	6



➤ 情報伝達及びコミュニケーションの確保

図表43 情報伝達及びコミュニケーションの確保の取組状況

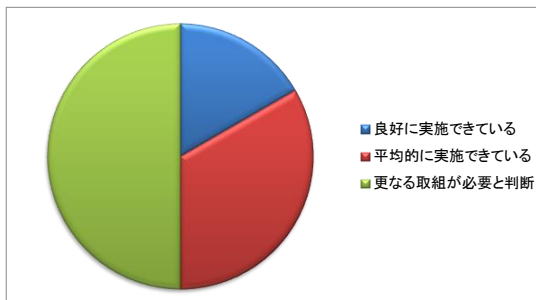
	割合	実数
良好に実施できている	83%	5
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	0%	0
合計	100%	6



➤ 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用

図表44 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の取組状況

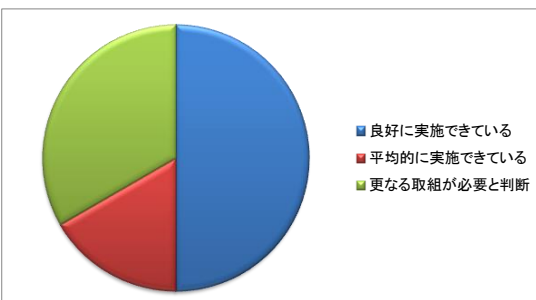
	割合	実数
良好に実施できている	17%	1
平均的に実施できている	33%	2
更なる取組が必要と判断	50%	3
合計	100%	6



➤ 重大な事故等への対応

図表45 重大な事故等への対応の取組状況

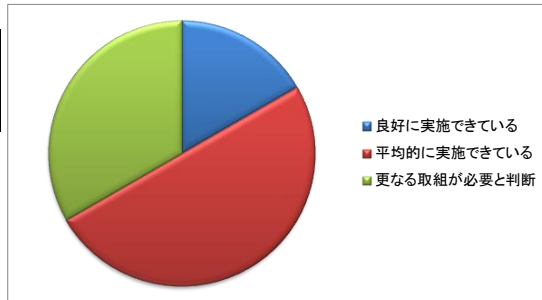
	割合	実数
良好に実施できている	50%	3
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	33%	2
合計	100%	6



➤ 関係法令等の遵守の確保

図表46 関係法令等の遵守の確保の取組状況

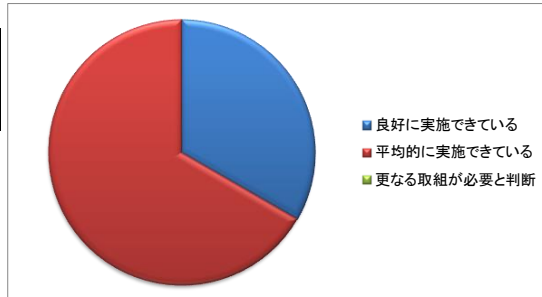
	割合	実数
良好に実施できている	17%	1
平均的に実施できている	50%	3
更なる取組が必要と判断	33%	2
合計	100%	6



➤ 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

図表47 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等の取組状況

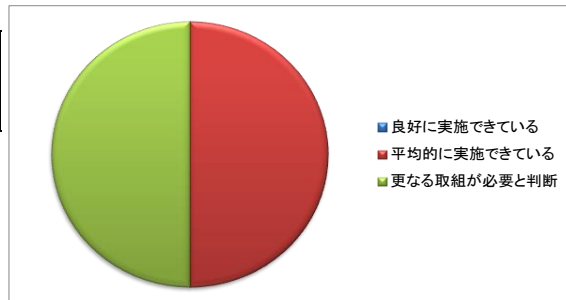
	割合	実数
良好に実施できている	33%	2
平均的に実施できている	67%	4
更なる取組が必要と判断	0%	0
合計	100%	6



➤ 内部

図表48 内部監査の取組状況

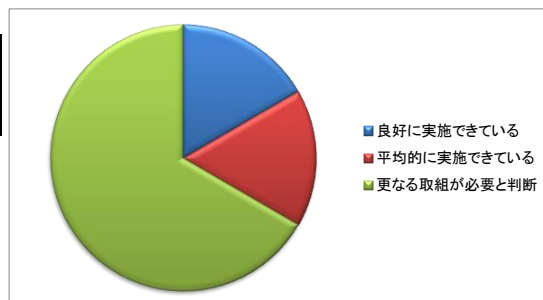
	割合	実数
良好に実施できている	0%	0
平均的に実施できている	50%	3
更なる取組が必要と判断	50%	3
合計	100%	6



➤ マネジメントレビューと継続的改善

図表49 マネジメントレビューと継続的改善の取組状況

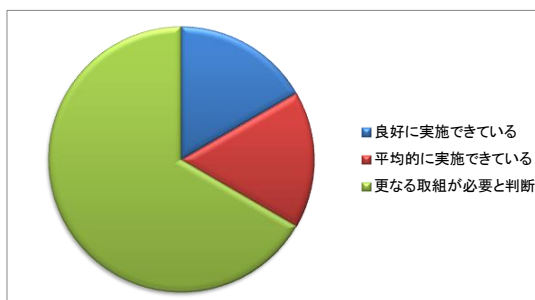
	割合	実数
良好に実施できている	17%	1
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	67%	4
合計	100%	6



➤ 文書の作成及び管理

図表50 文書の作成及び管理の取組状況

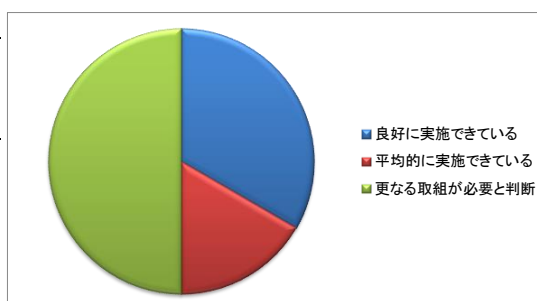
	割合	実数
良好に実施できている	17%	1
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	67%	4
合計	100%	6



➤ 記録の作成及び維持

図表51 記録の作成及び管理の取組状況

	割合	実数
良好に実施できている	33%	2
平均的に実施できている	17%	1
更なる取組が必要と判断	50%	3
合計	100%	6



2-4 アンケート結果まとめ

① 第三者による評価についての認識について

- ・ セミナー受講者の 48%が、客観的な評価には第三者の視点が是非とも必要だと考えていることが分かった。
- ・ セミナー受講者の 23%が、状況によっては第三者による評価を受けることはやむを得ないと考えていることが分かった。

② セミナー受講者と被評価者とのガイドラインの各項目に関する認識等について

- ・ 「文書の作成及び管理」について、セミナー受講者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 91%であるのに対し、被評価者の回答は 45%となっており、セミナー受講者と被評価者を比較した場合、ガイドラインの項目の中で最も大きな差があった。被評価者の回答はそれ以外の項目では概ねセミナー受講者との回答差は少なく、やや実施できている傾向が強い結果となっていた。

③ セミナー受講者と評価員とのガイドラインの各項目に関する認識等について

- ・ 「安全重点施策」について、セミナー受講者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 90%であるのに対し、評価員の回答は、「良好に実

「実施できている」と「平均的に実施できている」の合算値が 33%となっており、57%の差があった。

- ・ 「マネジメントレビューと継続的改善の取組状況」について、セミナー受講者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 74%であるのに対し、評価員の回答は、「良好に実施できている」と「平均的に実施できている」の合算値が 34%となっており、40%の差があった。

④ 被評価者と評価員との運輸安全マネジメントのガイドラインの各項目に関する認識等について

- ・ 「安全重点施策」について、被評価者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 90%であるのに対し、評価員の回答は、「良好に実施できている」と「平均的に実施できている」の合算値が 33%となっており、57%の差があった。
- ・ 「マネジメントレビューと継続的改善の取組状況」については、被評価者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 82%であるのに対し、評価員の回答は、「良好に実施できている」と「平均的に実施できている」の合算値が 34%となっており、48%の差があった。
- ・ 「文書の作成及び管理」について、被評価者の回答では、「実施できている」と「不足する点はあるが実施できている」の合算値が 91%であるのに対し、評価員の回答は、「良好に実施できている」と「平均的に実施できている」の合算値が 34%となっており、57%の差があった。

2-5 考察

「文書の作成及び管理」については、アンケート受講者は評価を受けることを想定せずに回答しているが、被評価者は実際に第三者の評価を受ける立場となり、評価に向けて自社における文書の管理状況等の確認作業を行っている最中であり、評価準備を行うなかで「文書の作成及び管理」について「実施できていない」という認識に変化している可能性が考えられる。実際に、評価員が評価時に運用されている文書類を確認すると、記載情報が古い情報のままである等、最新版管理が不十分であることが散見された。

「安全重点施策」については、アンケート受講者及び被評価者双方とも、評価員と大きな認識の差があることが分かった。「安全重点施策」の項目では、輸送の安全の確保に関する目標の設定と、その目標を達成するために、輸送の安全を確保するために必要な具体的な取組計画の策定することが記載されている。実際に、評価員が評価時に安全重点施策に関する文書、記録類を確認すると、安全重点施策が未策定である場合や、自社の実情に応じた内容となって

いないものが散見された。

「マネジメントレビューと継続的改善の取組状況」についても、アンケート受講者及び被評価者双方とも、評価員と大きな認識の差があることがわかった。主にマネジメントレビューは、経営トップが次年度に向けて今年度を振り返る取組であり、経営トップが会社経営を行う中では一般的に行われている取組である。ただし、ガイドラインの中のマネジメントレビューは、会社全体の安全管理体制の構築・改善の状況を振り返り、総括し、それら安全管理体制が適切かつ有効に機能していることを評価し、必要に応じて、見直し・改善を行う活動であるとされ、収支情報等の経営面の振り返りだけでなく、安全管理体制に関する情報等を確認し見直し改善を行っていくこととされている。実際に、評価員が評価時にマネジメントレビューの取組を確認すると、マネジメントレビューの内容が不十分であることが散見された。

上記の通り、従前から運輸事業者が取組をすることに苦勞を感じる項目として言われている「内部監査」や「事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用」、「マネジメントレビューと継続的改善」に加え、「安全重点施策」の項目において、評価員は評価時に運輸事業者に有効な支援を行う必要があると考えられる。「安全重点施策」は、PDCA サイクルの A に該当するマネジメントレビューを経て策定されることが効率的と考えられ、連続的に策定されることが望ましいものである。したがって、有益な支援を行うためには評価対象の会社の状況を、経営トップへのインタビューやマネジメントレビューの議事録等の記録から詳細に確認する必要がある。それら状況を理解したうえで、各社特有の課題や脆弱性等を把握し、具体的事例や別途資料を示す等の工夫を加え、各社の実情に応じた安全重点施策となるための支援を行うことが求められると推察する。（別紙資料②「概要：安全重点施策とマネジメントレビューの関係性」）

3. 運輸安全マネジメント評価員育成計画の実施状況

国土交通省が定める第三者機関の評価員の資格条件に基づき、当会の国土交通省主催の「運輸安全マネジメント評価（初級）研修」を 3 名に受講させるとともに、国土交通省主催の「運輸安全マネジメント評価（中級）研修」を 3 名、「第三者評価認定機関向け貸切バス事業者運輸安全マネジメント評価研修」を 4 名に受講させ、運輸安全マネジメント制度に関する知見の集積を行った。運輸安全マネジメント制度に関する知見を幅広く周知するため、ガイドライン研究会や運輸安全マネジメント評価に職員を参加させるなどの取組を実施した。

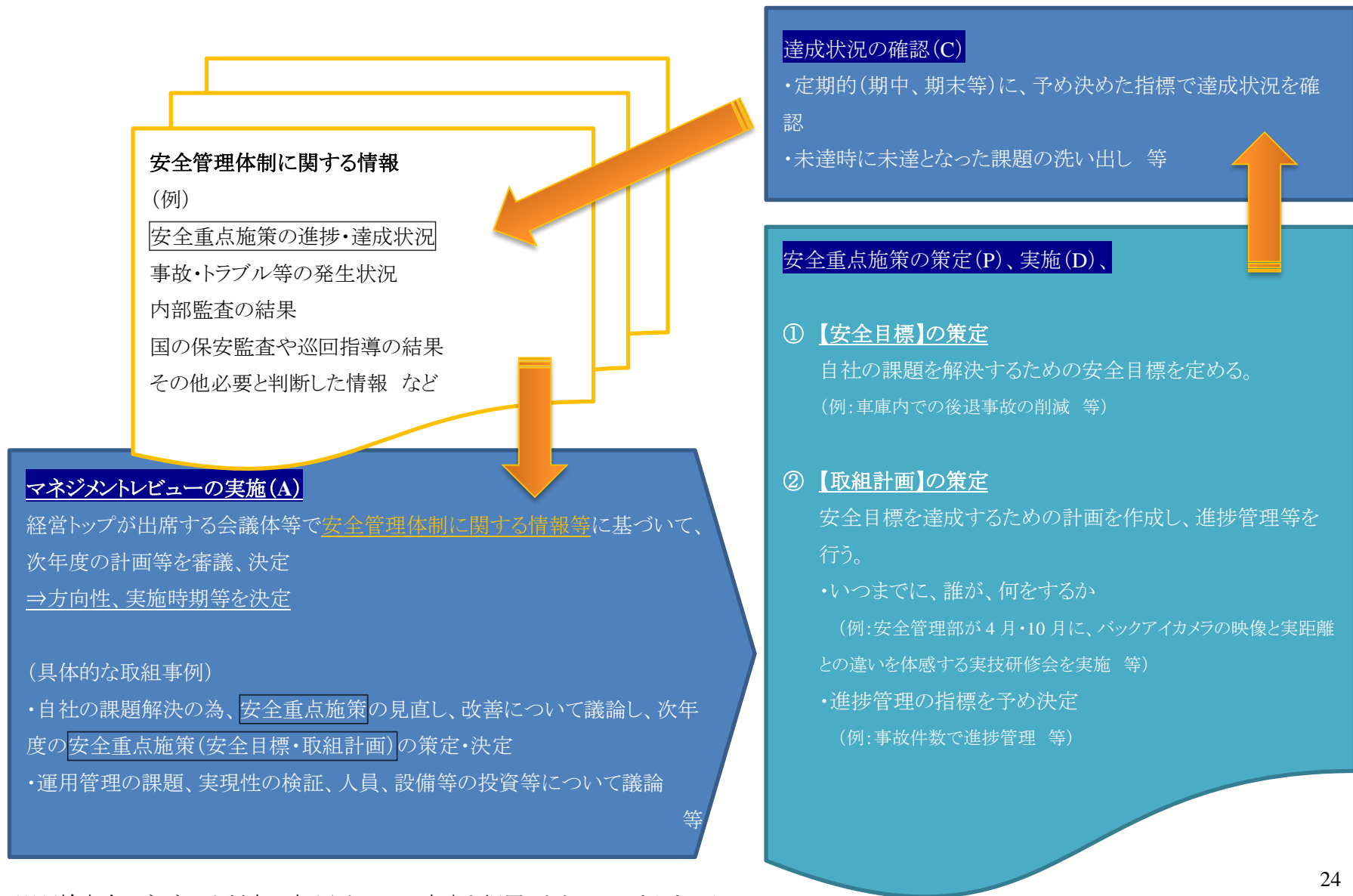
4. 来年度以降の事業について

「一般貸切旅客自動車運送事業の許可及び事業計画変更認可申請の処理について（平成 11 年 12 月 13 日付け自旅第 128 号、自環第 241 号）」の一部改正（平成 29 年 2 月 28 日）により、一般貸切旅客自動車運送事業の許可更新の審査基準が変更となり、前回更新時以降に輸送施設の使用停止処分又は使用制限（禁止）の行政処分を受けた場合、「自動車運送事業者における運輸安全マネジメント等の実施について（平成 21 年 10 月 16 日国官運安第 156 号・国自安第 88 号・国自貨第 95 号）」に基づき認定された事業者による運輸安全マネジメント評価を受けていない

場合は、貸切バスの許可更新を受けることができないこととなり、その審査基準が適用される貸切バス事業者の申請時期が2022年2月であり、行政処分を受けた貸切バス事業者に対する第三者機関による運輸安全マネジメント評価に関する問い合わせ等が増えることが想定される。そのため、引き続き、運輸安全マネジメント制度の評価に関する調査・研究を行っていくものとする。

添付資料①【主催者からのアンケートのご協力のお願い】

【主催者からのアンケートご協力のお願い】	開催日: セミナー名:ガイドラインコース																														
<p>Q5. あなたの会社では既に、運輸安全マネジメントに取り組んでおられますか</p> <p><input type="checkbox"/> ① 既に取り組んでおり、3年以上経過している。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 既に取り組んでおり、1～3年経過している。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 取組みについては、これからである。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ その他()</p>																															
<p>Q6. あなたの会社では既に、内部監査を実施されていますか</p> <p><input type="checkbox"/> ① 既の実施しており、3年以上経過している。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 既の実施しており、1～3年経過している。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 実施については、これからである。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ その他()</p>																															
<p>Q7. あなたは、会社ではどのような業務をしていますか (いくつでも)</p> <p><input type="checkbox"/> 経営層 <input type="checkbox"/> 運行管理業務 <input type="checkbox"/> 営業、総務関連業務</p> <p><input type="checkbox"/> ドライバー <input type="checkbox"/> 整備管理業務</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>																															
<p>Q8. 運輸安全マネジメント制度では 事業者の取組みに 国による評価・助言をおこなっていますが、この第三者の評価をどのように思いますか</p> <p><input type="checkbox"/> ① 自社による内部監査など 自己評価で十分である</p> <p><input type="checkbox"/> ② 状況(事故発生など)によっては、やむをえない</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 必要性は感じないが、機会があれば評価を受けて取組み状況を確認してみたい</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 客観的な評価には第三者の視点が是非とも必要だと思う</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ その他、何でも()</p>																															
<p>Q9. ガイドラインの「14項目の取組み」について、御社の現状「評価」を教えてください。ワークショップの『自己チェックリスト』の内容と違ってかまいません。</p>																															
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ガイドライン項目</th> <th style="text-align: center;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(1) 経営トップの責務</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(2) 安全方針</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(3) 安全重点施策</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(4) 安全統括管理者の責務</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(5) 要員の責任・権限</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(6) 情報伝達・コミュニケーション</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(7) 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(8) 重大な事故等への対応</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(9) 関係法令等の遵守の確保</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(10) 教育・訓練等</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(11) 内部監査</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(12) マネジメントレビューと継続的改善</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(13) 文書の作成及び管理</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> <tr><td>(14) 記録の作成及び維持</td><td>☆ △ × ? ●</td></tr> </tbody> </table>	ガイドライン項目	評価	(1) 経営トップの責務	☆ △ × ? ●	(2) 安全方針	☆ △ × ? ●	(3) 安全重点施策	☆ △ × ? ●	(4) 安全統括管理者の責務	☆ △ × ? ●	(5) 要員の責任・権限	☆ △ × ? ●	(6) 情報伝達・コミュニケーション	☆ △ × ? ●	(7) 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用	☆ △ × ? ●	(8) 重大な事故等への対応	☆ △ × ? ●	(9) 関係法令等の遵守の確保	☆ △ × ? ●	(10) 教育・訓練等	☆ △ × ? ●	(11) 内部監査	☆ △ × ? ●	(12) マネジメントレビューと継続的改善	☆ △ × ? ●	(13) 文書の作成及び管理	☆ △ × ? ●	(14) 記録の作成及び維持	☆ △ × ? ●	<p>左の「評価」欄の記号に ○ で囲んでください</p> <p>☆ : 実施できている</p> <p>△ : 不足する点はあるが実施できている</p> <p>× : 実施できていない</p> <p>? : 分からない</p> <p>● : 今後、力を入れていきたい</p> <p>複数の記入でも構いません</p>
ガイドライン項目	評価																														
(1) 経営トップの責務	☆ △ × ? ●																														
(2) 安全方針	☆ △ × ? ●																														
(3) 安全重点施策	☆ △ × ? ●																														
(4) 安全統括管理者の責務	☆ △ × ? ●																														
(5) 要員の責任・権限	☆ △ × ? ●																														
(6) 情報伝達・コミュニケーション	☆ △ × ? ●																														
(7) 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用	☆ △ × ? ●																														
(8) 重大な事故等への対応	☆ △ × ? ●																														
(9) 関係法令等の遵守の確保	☆ △ × ? ●																														
(10) 教育・訓練等	☆ △ × ? ●																														
(11) 内部監査	☆ △ × ? ●																														
(12) マネジメントレビューと継続的改善	☆ △ × ? ●																														
(13) 文書の作成及び管理	☆ △ × ? ●																														
(14) 記録の作成及び維持	☆ △ × ? ●																														
<p>◎ ・事業許可の更新日 (年 月 日頃) / 不明</p> <p>・ご署名 : _____</p> <p style="text-align: center;">*** アンケートのご協力ありがとうございました ***</p>																															



※運輸安全マネジメント制度で求められている内容を網羅したものではありません。